



登城ガイド  
 ・標高……………210m  
 ・比高……………25m  
 ・使用者……………不明  
 ・所要時間……………県道から3分

甲斐城の遠望(西側から撮影)

# 安芸高田 歴史紀行



シリーズ「お城拝見!」第82回

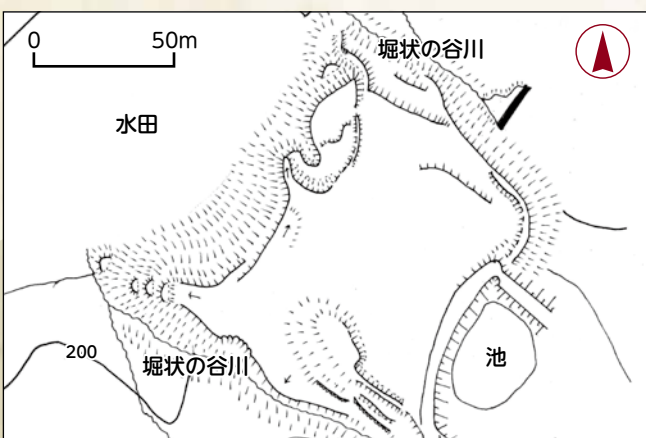
## 甲斐城 《甲田町高田原》



周辺位置図(国土地理院地図に加筆)



昭和22年の甲斐城付近(米軍撮影、国土地理院サイトより)



甲斐城跡略測図(作図 秋本哲治)

**謎の甲斐城**  
 市内に城跡が多数ある中で、江の川(可愛川)東岸にはほとんど確認されていません。特に、高田原地区には近世地誌類にも県教委の総合調査にも城跡は全く見当たりありませんが、『甲田町誌』に唯一「甲斐城」の記載があります。その位置や構造はこれまで不明でしたが、航空レーザー測量図に高田原に人工的に区画された場所がありました。この辺りを「甲斐谷」ということから、ここが甲斐城とされた場所であることが判明しました。

**立地**  
 可愛川の両岸に開けた甲立盆地の東端にあたる、瀬戸集落にあります。低い台地上ですが「甲斐山」と呼ばれており、南北両側に谷川が流れ、滝もあつたようです。ここには近世から「甲斐観音」があり、現在は麓に県道広島三次線と芸備線が通っています。

**城主**  
 『甲田町誌』によると、ここを甲斐主膳の城とする説があります。しかし、近世の記録に甲斐主膳という僧が甲斐観音を開いたとあり、僧が城主と曲解されたようです。一方、『高田郡誌』に宍戸家臣末兼氏の居城が高田原にあつたとありますが、詳細は不明です。

**城跡**  
 南北が堀状の谷、西は水田、東の背後にはため池となつており、全体的にはほぼ方形です。おおよそ100m×80mの規模で、現在は荒地となつていますが、昭和22年の航空写真では畑だつたようです。

**考察**  
 規模や構造は小領主の館としても違和感はありません。ただし、こうした一般的には館城といわれる方形の城跡は、本市内に類例がほとんどありません。また、現地の道や石垣などは明らかに江戸時代以降の姿で、現況だけで城跡と断定はできません。

### 改元詐欺に要注意

新たに「令和」へ元号が変わり、新巻の詐欺が発生するおそれがあります。

電話や封書で  
**元号が変わるので  
 キャッシュカードを  
 変更する  
 必要があります**

**要注意**  
 これらはキャッシュカードを  
 騙し取る詐欺です!

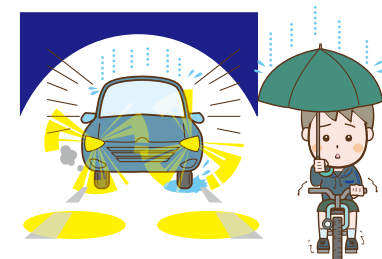


不審な電話や配達物は  
 家族や警察に相談しましょう。

警察への相談は、  
 警察安全相談電話  
**「#9110」**

### 雨天時の交通事故に注意!

- ・路面がぬれてタイヤが滑りやすくなるので、車間距離を十分に取らしましょう。
- ・暗くなり視界が悪くなるため、早めにライトを点灯しましょう。
- ・自転車は雨がっぱを着るなどしましょう。(傘さし運転は危険です)



交通ルールを守って、  
 事故を防ぎましょう。

平成31年  
 広島県交通安全  
 年間スローガン  
**危険だよ  
 スマホに夢中の  
 その君**

## 「広報あきたかた」について ご意見をお聞かせください

受付

メールもしくは、本・支所へ設置してあるアンケート用紙に記入し、広報ご意見ポストへ投函してください。

懸賞付き  
 アンケート  
 協賛企業募集

広報あきたかたでは「懸賞付きアンケート」掲載に向け、市内外問わず、懸賞協賛企業を広く募集しています。申し込み、お問い合わせは総務課秘書広報室までご連絡ください。

総務課秘書広報室 ☎his yokouhou@city.akitakata.jp



ふるさと納税  
 返礼品のご紹介  
**縄文あいす 8個セット**  
 from ひとは工房 ひとは館

自家農園栽培、向原町特産の古代米を使用した縄文あいす「縄文」は、砂谷牛乳を使用したミルクベースに、古代米特有のプチプチ食感が楽しめます。他にも「えびす茶」、大吟醸を使った「神の蔵」、大人の方でも楽しめる甘苦い「キャラメル」など、縄文あいすを存分に楽しめる8個セットです。  
 ※全て卵は不使用

安芸高田市ふるさと納税寄附金額  
 【地方創生推進課定住促進係 ☎お太助フォン42-2124】  
 〈寄附件数〉674件  
 〈寄附額〉7,856,000円(4月分合計)